

全国キャラバンに参加した岸さんのレポートです

十月十五・十六日、全国キャラバンに参加した岸さんのレポートです(要旨)。

十月十五・十六日、東京なくせじん肺全国キャラバン行動に越尾弁護士、澤田さん、南さん、石川さん、岸の五人で行かせていただきました。

十二時日鉄鉱業本社前に集結、厳しい門でしたが、マイクで抗議の声を響かせました。二時から三井金属工業の本社に行きイタイ病の抗議をしました。横断幕を持って並びましたが、会社は本当に冷たく皆さん嘆いていました。じん肺の人で佐賀県から来て、和歌山有田のトンネル仕事もしたと言っていました。十八時三〇分から大集会。主催者挨拶、社民党重野議員、共産党議員が皆さんの苦しみを議会で取り組みますと言ってくれました。香川県リゾートソリニョニアのアスベスト勝訴のお礼で原告全員登壇。全国の団体が会場いっぱいでした。

泉南アスベストは越尾弁護士が今までのいきさつや、地場産業だった事、原告の苦しみを訴えてくださいました。南さんが代表で父親の介護、トイレの大変な事、また早く死んでとか、自分自身の身体限界、介護の事を訴えてくださいました。

十六日厚労省、環境省前宣伝。私達はピラくばり、越尾弁護士が宣伝カー上で泉南アスベスト石綿の事を訴えました。各記者クラブ行きお願いしました。その後参議院会館へ行き自民、公明、民主、共産の各議員を回りしました。先生方の力強い支援宜しく願います。

とても強行なスケジュールでした。足が棒のようにになりました。

帰りの新幹線もひとつ遅れましたが頑張ってきました。三人無事、帰宅出来た事お礼申し上げます。ありがとうございました。

大阪府下自治体への決議要請行動で次々に決議の採択がすすんでいます。

大阪府下自治体への決議要請行動が展開され、これまで阪南市、泉南市、岬町、泉佐野市、泉大津市、河内長野市の五市一町の議会で採択されました。要請している決議内容は次のような内容です。

当該自治体の石綿工場などを事前調査して、当市にも「〇〇石綿」などの工場が操業し埋もれた被害を含めて深刻な被害が今後も今後も予測される。府下で一番被害の大きかった泉南地域では国の石綿規制の遅れにより被害が拡大したと国家賠償裁判も行われている。

建物などに一〇〇〇万トとも言われる残存石綿による被害をくいどめるためにも被害救済に国が積極的に取り組むことを要望する。



特に、泉佐野市議会で「国に対し泉南アスベスト被害の早期の解決・救済を求め」意見書が全会議員(自民)の地元です。

泉南市 向井市長の答弁

泉南市、二〇〇九年十二月九日の定例議会で、「アスベスト被害についての国の責任をどう考えるか」との質問に、向井市長は、以下のような答弁をしました。

「欧米では、早くに規制していたのに、わが国は対策が遅く、長年アスベストの使用を認めてきた。代替品がなかったという理由があるのかもしれないが、人体に悪影響を及ぼす、被害を及ぼすことは指摘されていたわけで、早くに規制されていなかったことは問題だ。」

阪南市、泉南市、岬町、泉佐野市、泉大津市、河内長野市の各議会で「早期解決のための政府への意見書」採択